

お知らせ

- 次回活動日；3月20日（木、春分の日）、9時30分第一駐車場集合。主な活動予定は動物及び食害調査、シカ防護柵設置の現地検証、植物班・動物班・栽培きのこ班、野鳥班・木工班などの班活動。
- 来年度以降の活動；千葉県と「千年の森」間の現協定書は本年3月末日を以って5カ年の協定期間を満了します。会員意向調査結果も踏まえ、20年度以降協定を更新し活動を継続したいと県当局に申し入れを行い、協定更新（継続）の内諾を頂きました。活動の継続を前提に、協定書の更改、会規約の見直し、今後の活動方針、20年度の活動計画などを4月の総会までに準備し、次の5カ年の活動をスタートします。
- ちば里山新聞；2月10日活動に不参加の郵送会員には同封します。メール会員は「ちば里山センター」ホームページをご覧ください。
- 里山活動発表会；ちば里山センター主催の19年度発表会が3月8日（土）千葉市「ブラザ菜の花」で開催されます。参加希望者は上記の事務局アドレス宛メール又は電話ください。実施要領は里山センターホームページ参照、メールの無い参加希望者は上記に電話ください。

活動の記録

- 2月10日（日）19年度活動発表・検討会 於君津市八重原公民館 会員16名、吉原先生、大和美術印刷社長
- 野生動物の生息調査（福島）；目撃情報の記録や3回の個体数調査、センサーカメラの記録、痕跡の記録などを取りまとめ、島のニホンジカ・ノウサギ・ニホンザルなどの実態が紹介され、植生保護など今後の方向が提起された。映し出されるシカやサル画面には初公開の画像もあり迫力があつた。
- トビの子育て（高橋）；今年度は抱卵中に吊り橋交通規制という悪条件下での苦心の観察記録。残念ながら雛一羽は原因不明の死、残る一羽の成長・巣立ちの物語が「鳥好きの気持ち」を込めて発表された。
- 栽培きのこ（久我）；19年の植菌、収量調査、動物食害とその対策、ゴムタケの発生、ホダ場の日除けのためホダ木移設とその効果など、栽培きのこ班活動1年間の苦戦の記録が報告された。
- 野生きのこ（村野）；吹春先生の指導で村野班長が作成した「千葉県下で発生するテングタケ科のきのこの外観からの検索」方法が画像をまじえて披露された。傘の色→イボの有無と種類→溝線→柄の表面→ツバ→ツボ→その他の特徴と順を追って判定すれば種の名前に辿り着き、誰でもきのこ通になれる？新兵器？お試し下さい。
- 相対照度測定結果とその評価（福島）；06年-07年4回の調査結果をまとめ、エリヤ（目標林型）別傾向、夏の着葉期と冬の落葉期、1年経過後の変化の傾向など報告され、森林整備や植生保全との関連、動物の生態との関連など興味深い問題提起があつた。
- 木工班活動（長村）；巣箱設置作業と広場荷台作り作業を紹介。春のシジュウカラ営巣に乞うご期待。
- 「千年の森」5年間の活動を振り返って（真鍋）；「千年の森」発足・協定締結後5カ年を満了するに当たり、全ての活動分野について報告書「千年の森・5年間の活動を振り返って」に総括し、反省点、今後活動を継続する場合検討すべき問題点など報告された。（この報告書は一部補足修正し3月に全会員に配布予定）
- イオン財団助成事業「シカ関連プロジェクト」（伊藤）；通常の年間活動とは別に、「シカに関する調査、対策を市民レベルで実施し、研修会等で外部に情報提供する」内容のプロジェクトを申請したところ2008年度分として助成金30万円が採択となった。緊急の課題であるシカ問題への対応と今後の活動の充実に、この助成金を有効活用したいとの報告があつた。

○吊り橋問題の経緯と現状も報告され、来賓の大和美術印刷社長からは「森づくりの幅拾い分野で専門的に地道に活動している“千年の森”の姿を垣間見て感服し、今後いっそうの活躍に期待します」とのコメントをいただき午前の部報告会を終え八重原公民館を背景に記念写真、昼食。

○今後の活動について自由討議；午前の5年間の活動報告で問題提起された「森の整備が一巡し、整備作業が減少する中で今後の活動の中心を何に求めるか。」と「君津など周辺地域の人や集落や団体、学校などから孤立している現状を改善し地域と共生する方策は無いか」の2点で自由討議を行った。問題の提起や経験の披露、意見、具体的な提案もあり、地域や小学校との連携については吉原先生の貴重なアドバイスもいただいた。必ずしも一定の方向を見出すに至らなかったが、今後につながる示唆に富んだ意見交換があった。



君津市ご自慢八重原公民館を背に

今回の活動発表会は、久しぶりに吉原先生のご出席をいただき、新井さんが館長をつとめる八重原公民館をお借りして実施した。リゾートを思わせる立派な会場と家庭的なレストランのおかげで、落ち着いた雰囲気の中で5年間を振り返り、今後の活動に思いを馳せることができた。あらためてお礼を申し上げたい。

2月20日（水）快晴 臨時活動；シイタケ植菌仮伏せ作業ときのご収量調査 参加7名+1

快晴に恵まれた豊英島で、植菌作業と栽培キノコの調査を行いました。落葉した木々の上から暖かな春の日差しが差し込み、雪は消えていました。参加者は男性3名と女性4名にお孫さんが1名、10時から作業を始め12時には終了して、皆で楽しく昼食をとり解散しました。（久我記）



快晴に恵まれ春の日差しの豊英島で

○シイタケ植菌・仮伏せ作業；前回の作業で伐木したコナラを玉切りし、電気ドリル2台を使用して穴を開け、シイタケ菌コマ1,000個を植菌、皆さんの協力で作業は順調、ホダ木は約60本、ホダ木は細いのが多く平均直径:10cm位、植菌したホダ木は巨木林のS0703の傍に仮伏せしました。



穴明け



コマ打ち千駒



ホダ木 60本に日覆いして

○栽培キノコの調査；前回の調査から24日経過しているので、大量の収穫を期待したが椎茸が280gr、ナメコが10grと不調でした。次回の調査は3月上旬に予定しています。